

ウツディ エイジ

◎木材の研究と普及◎ 監修：林産試験場



地盤改良と木材 ～液状化対策の観点から～

ウッドエイジ

木材の研究と普及

第69巻・通巻798号

目 次

地盤改良と木材 ～液状化対策の観点から～	1
木材による循環型社会の実現 ー都市・街をつくる木造建築ー	5

※地域材を利用しやすくするためのツールの開発	8
※燃料用木質チップの水分調整の必要性	12
※Q&A先月の技術相談から 〔合板とLVLの単板構成の定義について〕	14
※行政の窓 〔「WOODコレクション(モクコレ)令和元年」で 北海道産木材・木製品をPR〕	15
※林産試ニュース	16

※：林産試日より2020年2月号からの転載
(地独)北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場 承諾



有明体操競技場 東京都江東区

有明体操競技場のコンセプトは「湾岸エリアに浮かぶ木の器」です。

アーチ状の屋根には北海道と長野県のカラマツ材の梁が使用され、外壁には静岡県浜松市の杉「天竜材」が多く使用されています。

観客席にも三重県産の杉材の木製ベンチが使用されており、新設された五輪施設の中で最も多い2,300㎡もの国産木材を使用した施設となっています。